

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 5 部門第 3 区分
【発行日】 平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【公開番号】 特開 2005-337551(P2005-337551A)
【公開日】 平成 17 年 12 月 8 日 (2005.12.8)
【年通号数】 公開・登録公報 2005-048
【出願番号】 特願 2004-155259(P2004-155259)
【国際特許分類】

F 2 5 B 9/14 (2006.01)

【F I】

F 2 5 B 9/14 5 2 0 F

【手続補正書】
【提出日】 平成 19 年 1 月 24 日 (2007.1.24)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 0 2
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【0 0 0 2】

従来、この種のスターリングサイクル機関は、図 7 に示すように、リニアモータ 51 により往復運動駆動させるピストン 52 が、シリンダ 53 の基端側 53A の内部を軸方向に往復動し、そして、前記ピストン 52 が、前記シリンダ 53 の先端側 53B の内部を軸方向に往復動可能に挿入されたディスプレイサ 54 に近づく方向に移動すると、前記ピストン 52 とディスプレイサ 54 との間に区画形成された圧縮室 C 内の作動ガスが圧縮されて、前記シリンダ 53 の先端側 53B とケース 55 との間に配置された排熱フィンにより形成される排熱部 56、再生器 57、吸熱フィンにより形成される吸熱部 58 を通って前記ディスプレイサ 54 の先端とケース 55 の先端部との間に形成された膨張室 E に至ると共に、前記ディスプレイサ 54 を押し下げる。一方、前記リニアモータ 51 によって、前記ピストン 52 が前記ディスプレイサ 54 から遠ざかる方向に移動すると、前記圧縮室 C の内部が負圧となり、前記膨張室 E 内の作動ガスが、前記膨張室 E から前記吸熱部 58、再生器 57、排熱部 56 を通って前記圧縮室 C に還流し、これにより、前記ディスプレイサ 54 を押し上げる。このような工程中において、二つの等温変化と等体積変化とからなる可逆サイクルが行われることで、前記吸熱部 58 の周辺は低温となり、一方、前記排熱部 56 は高温となる（例えば特許文献 1）。